

東京外国人雇用サービスセンターの活用について

東京外国人雇用サービスセンター 室長 高橋 勝

ただ今ご紹介にあずかりました、東京労働局の中にあります東京外国人雇用サービスセンター室長の高橋と申します。よろしく申し上げます。

東京外国人雇用サービスセンターといいますのは、外国人の方を中心に、専門に就職支援をしている機関でございます。外国人雇用サービスセンターは東京の他に大阪、名古屋にもございますが、それ以外の都道府県につきましては、日本のあらゆる場所にある新卒の方の就職支援をしている新卒応援ハローワークに留学生コーナーを作りまして、留学生を中心に支援をしております。資料の一番後に『他府県の外国人留学生等の採用に関する相談施設』ということで一覧表を載せてありますので、後ほどご覧ください。

本日は、持ち時間が10分しかございませんので駆け足になりますけれども、東京外国人雇用サービスセンターの説明をさせていただきます。

まず1ページ目ですが、当サービスセンターの業務としましては外国人留学生、および専門的・技術的分野である「技術・人文知識・国際業務」等の在留資格をお持ちで、転職を希望されている方を中心に就職の支援を行っております。四つの支援メニューのうち、最初に職業相談支援があります。これはまさにハローワークがやっている職業相談の外国人版ということで、きめ細かい相談を実施して何とか就職に結び付けようということをやっていることでございます。

次に就職ガイダンス、就職支援セミナー。これは大卒、短大卒、専門学校卒も含めて、学生が初めて就職をされてお仕事を始めるといった場合、やはり入り口の部分、これが非常に大切なものですから、その辺の心構えや、実際の面接の場面、筆記試験の対策という、よく聞かれる支援をやっています。就職ガイダンスについては学校へ出向いたり、あるいは学生さんを当センターに呼び込んでいろいろ説明をしています。就職支援セミナーは色々なメニューがあります。希望の方を募りまして、書類対策や、面接対策、筆記試験対策などを行っております。特に筆記試験がなかなか難しいということで、せっかく能力のある方が試験でいい成績が取れなくて就職に至らないというケースも多々ございますので、そういった支援も行っているところでございます。

三つ目が就職面接会とインターンシップです。外国人の採用に意欲的な企業へ時にはこちらのほうからも働き掛けて、セッティングをさせていただいて、留学生等と企業が一堂に会して面接会を行っております。今年度も7月5日に110社ほど集めて面接会を予定しているところでございます。また、10月と1月にも規模は小さくなりますが合同就職面接会を予定しています。また、留学生向けのインターンシップも企業さんにオファーをして、今のところ15、6社までエントリーしていただいておりますけれども、できれば20社以上、

何とかセッティングできないかと思って、今、一生懸命募集しているというような状況でございます。学校が夏休み中、8月を中心に一週間(5日)ぐらいをセッティングしまして、日本の企業の様子や、職場の慣習、そういったものも体験していただければと思っております。

最後に在留資格に関する相談ということで、入国管理局 OBの方を中心に専任アドバイザーがおりまして、在留資格をきちんと取得できるようになるためには、こういう注意が必要ですよというようなアドバイスをしているところでございます。

2 ページ以降も資料が色々ございまして、10分ではとても説明しきれないので、改めてご覧いただければと思います。

2 ページでは、最近5年間の求職登録者の動向を見ています。新規に当センターに登録していただいている方のうち、赤い部分が専門・技術的な資格を持っている方、青い部分が留学生・既卒者ですが、留学生・既卒者の相談が大変増えてきているという状況です。下の円グラフを見ていただきますと、国籍別ですと中国が半分ぐらいを占めているのですが、最近増えているのがご存じのようにベトナム、ネパールからの留学生です。卒業してもやはり日本の企業で働きたいという既卒の方が特定活動ということで留まっていたいて、何とか日本の企業へ就職をとというような状況になっています。

3 ページでは、就職の状況を取り上げています。やはり24年度からずっと見てきますと、26年度から27年度にかけて大幅に就職された方が増えていますが、皆さんもご存じのように中国からの爆買いが話題としてにぎわったと思いますが、その関係が多分、影響しているのだと思います。27年度において中国の方を中心に、たくさんの外国人の方を採用した企業があると聞いております。28年度は若干それが収まってしまったという感じになっています。国籍別でも就職に至った結果を見ると中国が6割~7割を占めています。やはり就職となるとベトナム、ネパールではなくて中国、韓国と、従来から実績のある国籍の方が多く就職されている現状でございます。

次に4 ページを見ますと、きょうは学校関連の方がたくさんいらっしゃると思いますが、当センターとしていろいろお世話をしている大学、短大は専修学校等を含めて230ほどございます。

それで大学等に出向いて就職ガイダンス等いろいろレクチャーをしている状況が28年度は224回、3,933人となります。当然、複数のカウントをされている方もいらっしゃいますが、これだけオファーがあるということでございます。

めくっていただくと5 ページがインターンシップについてですね。こちらのほうも2,000社以上の企業様にお知らせをしてお願いはしているのですが、結果的には昨年度も29年春の2月、3月の実績としては20社程度です。実際にインターンシップを経験した留学生も20名程度で、直前になってマッチングがうまくいかず、調整が不十分で結び付かなかったというケースもありました。ただ、本日のような機会を利用して企業の方にも理解を求めたいと思っております。

次に1ページ飛ばして、7ページですね。これが先ほど少し申し上げました、留学生及び留学生で既卒の方も含めた就職面接会ですね。既卒者も含めた面接会ということでお願いをしております、企業によっては既卒でも、3年たってからでも応募ができますよと仰っていただけることもあります。ここ3年間、26年度から28年度の実績も表示されています。内定なので定着しているかどうか、ちょっとあやしいところもありますけれども、昨年度は、250名ほど就職された方がいらっしゃったということでございます。

他にも説明したいことはたくさんございますけれども、この資料にかいつまんで記載しておきましたので、後でゆっくりご覧いただければと思います。

最後のほうに記載した日本語能力レベルですが、「N1でないと採用できない。」という企業さんがやはり多少ございますので、なかなか東南アジアとかネパールの学生さんが応募できる企業が少ないというのが現状です。企業側が求める日本語能力レベルを若干下げただけならば、もう少し送り込みができるのかなということで、今工夫をしているところでございます。

若干時間がオーバーしてしまいましたけれど、最後に他府県の外国人雇用サービスセンターがない地域においても留学生コーナーがございますので、もし企業とか学校さんでご相談したい場合については、こちらのほうへご連絡いただければと思います。東京の場合は埼玉、千葉、神奈川の3県とは連携をしておりますので、そちらで難しいようであれば、東京外国人雇用サービスセンターのほうにいろいろとご相談いただいて、当センターで出来るサービスはやっていきたいと思っております。

以上になります。ありがとうございました。